

（公財）神戸大学六甲台後援会だより（64）

非常に残念なお知らせから

今回の六甲台後援会だよりは、非常に残念な計報からお知らせしなければなりません。昨年12月13日、長年神戸大学の六甲台キャンパスの関係者は様々な形でお世話になっていた神戸大学名誉教授で六甲台後援会特別顧問の新野幸次郎先生がご逝去されました。95歳でした。

新野先生は、1925（大正14）年5月に鳥取県でお生まれになり、1949（昭和24）年、旧制神戸経済大学（現神戸大学）をご卒業され、その後、神戸大学経済学部助手、講師、助教授を経て、1963（昭和38）年から神戸大学経済学部教授として長年教鞭をとられ、1976（昭和51）年から1978（昭和53）年には経済学部長、1985（昭和60）年から1991（平成3）年までは第9代神戸大学長の要職についておられました。この間に先生の教えを受けた卒業生の方も多いのではないかと存じます。また、その後も1991（平成3）年からは神戸都市問題研究所長、2000（平成12）年からは同理事長にご就任され、神戸市の行政に様々な政策提言を続けられておられました。さらに、1996（平成8）年から2009（平成21）年には神戸大学学友会会長、1997（平成9）年から2013（平成25）年までは神戸大学六甲台後援会理事長、その間1998（平成10）年から2012（平成24）年には凌霜会理事長を務められ、母校・神戸大学のために様々にお力添え

をしていただいております。1995（平成7）年の阪神・淡路大震災の直後には兵庫県の都市再生戦略策定懇話会座長など有識者会議座長を務め、復興計画の策定・実行に中心的な役割も果たされておられました。2013（平成25）年からは神戸大学六甲台後援会特別顧問として、この六甲台後援会だよりを56回（神戸大学六甲台後援会ホームページの「六甲台後援会だより」に掲載しています）にわたり執筆いただいております。ここに謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。まだまだ続くコロナ禍

2020年度も終わりに近づいてきていますが、今年度は、昨年度末から続くコロナ禍のために、大学の行事はほとんど中止となり、あるいはシンポジウムやホームカミングデイもオンラインで実施されたりで、学生だけでなく、多くの教職員もキャンパスに来ることが通常よりも少なくなり、六甲台キャンパスは静かな1年になってしまいました。そんな中でも昨年の11月20日、21日の両日には法学研究科実務法律専攻（いわゆる法科大学院）の入試が、年明け後の1月16日、17日の両日には去年までのセンター入試改め今年から新たに始まった共通テストが六甲台キャンパスを含め神戸大学各キャンパスで実施され、無事に終えることができました。今年度の入試・共通テストは、コロナ禍の中での実施であったために受験生の座席は間隔をあけ、監督者もマスクを着用すると同時に教壇にはアクリル板を設置した形で行われ、通常よりも多くの教室を使用したために監督者の数も増え、実働の教員数も例年よりも多くなっているような状態でした。

ただ、入試を実施して感じたことは、やはり大学のキャンパスには多くの学生がみられる状態が本来の姿ではないかということが実感できたような次第です。いつまでこのようなキャンパスが閑散とした日々が続くのか、本来ならば後期の学期末試験期間中であるはずのこの時期、やはりキャンパスに学生はおらず、試験までオンライン・リモートでの実施となり、普段とは全く異なる1年間だったことがいまさらながら感じられる今日この頃です。

#### 六甲台キャンパスの出来事

前述のとおり、六甲台キャンパスは、コロナ禍のためにはほとんど学生がいない状態が続いています。例年ですとこの時期は試験だけでなく、経済学部や経営学部では卒業論文提出時期でもあり、大学院では学位論文提出でその審査が行われる季節になっていて、学生が多数やってきて賑やかになっているはずなのですが、教員も学生もほとんど寂しいキャンパスになっています。ただ、一時期の完全閉鎖の状態からは入構が幾分か緩和され、年末までは論文執筆のために図書館には学生がやってきているような風景を目にすることができました。また、今年度も年度末が近づき、本来ならば定年や自己都合で退職される教員の最終講義が行われる時期でもあるのですが、今年度はほとんどが中止になっており非常に残念です。実施されるとしてもオンラインのリモート講義の形式で行われるようになっていきます。

ただ、寂しい話ばかりではなく、例年よりも約4ヶ月遅れになった令和2年度の司法試験の最終合格者の発表が1月20日に

ありました。今年度の神戸大学法科大学院の結果は、最終合格者数62名、最終合格率49・2%（全国平均最終合格率39・2%）で、全国法科大学院の中では一橋、東京、京都、東北、慶応に次いで6位という順位になっています。昨年が合格率33・8%（全国平均33・6%）で順位も11位だったことを考えれば、今年度は大体これまでの順位に戻ったのではないかと思います（これまでライバル校と目されてきた大阪大学の最終合格者が34名、最終合格率37・8%と比較すれば、神戸大学の頑張りがよくわかる結果といえます）。このような結果は、修了生の奮起もさることながら、昨年度の結果を反省して熱心に指導をした法科大学院教員の努力の賜物ということができそうです。今後この状態を続けるだけではなく、最終合格率の向上を目指して教員は努力を重ねると思います。

#### 再度の緊急事態宣言発出

話題がコロナ禍ばかりになるのですが、さる年明けの1月8日から首都圏の1都3県で、1月14日からは栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県の2府5県で緊急事態宣言が昨年の4月7日に続き再び発出されました。2月8日から栃木県が解除されましたが、まだ兵庫県を含む1都2府7県は3月7日まで緊急事態宣言は発出中になり、飲食店に対する営業時間短縮、外出の自粛、テレワークの徹底が要請されています。さらにイベント開催については人数制限や特別の状態要請が行われ、2月1日から始まったプロ野球の今年のキャンプも無観客で行われるなど、いつになったら元の日常に戻るのか先行き不透明なままです。

その中で今回の緊急事態宣言では学校について一斉休校が要請されておらず、入試についても受験機会の確保など万全を期したうえで実施することが認められています。ただし、学生に対しては飲み会や懇親会の自粛などを徹底するよう大学に注意喚起するよう要請されており、神戸大学でもホームページで学生だけでなく教職員に対しても注意を促しています。

なお、今年度は3月24日に博士学位記授与式、3月25日に学位記授与式として卒業式が実施されます。ただし、コロナ感染拡大防止のために各式典会場への入場は学生のみとし、ご家族は入場できない状態で執り行われます。また、令和3年度入学式は、ご家族の入場を制限したうえで4月6日に行われますが、今年度令和2年度入学式が行われなかった関係で、同日午後から令和2年度入学者の入学式も行われる予定になっています。来年度前期講義は、対面による授業と遠隔授業を併用する形式で実施される予定です。

ワクチン接種が始まります（本稿が公刊される時には始まっているだろうと思います）が、それがどの程度有効なものかは未だ不明な状態です。報道ではかなりの有効性があるといわれていますが、実際にはコロナ治療薬が出てこないかと安心できる状態にはならないのではないのでしょうか。令和2年度はコロナに振り回され、多くの教員・学生は自宅待機を余儀なくされ、海外での研究活動もすべてストップした状態になっていました。令和3年度は、早くそのような状態が解除され、これまでどおりの通常の研究生活が送れるよう祈念するばかりです。そのなかで、コロナ対応に従事されている医療関係者、保健所の職員

の皆様には、その活動に心より感謝の意を表しておきたいと存じます。

アスリートの皆さんには申し訳ないですが、政治家の人たちには、第32回オリンピック・東京大会開催だけを見据えて、安易にコロナ禍に対する判断を誤らないよう期待したいところであります。自由・平等を基本原則とする憲法（最近は近代立憲主義の母国であるヨーロッパのEU法を中心に行っているが）を専門とする教員である筆者からは、大会組織委員長（2月11日には辞意を表明されましたが）の日本国の問題を露呈するような失言にも困ったものであると苦言を呈しておきたいと思えます。いつも皆様の「ご寄附誠にありがとうございます」

前号でご報告させていただいた以降、2月15日現在でのご報告となりますが、多くの皆様から「ご寄附をいただいております。誠にありがとうございます」。

金額別に、多田 葵様（平27法）、長谷川淳朗様（昭44経済）、藤原達也様（昭38経営）、森本浩三様（昭53経営）、井谷哲也様（平16法）、太田義人様（昭51経営）各1万円、稲垣修平様（平22法）1万5千円、山尾 均様（前本財団事務局長）、本間健一様（昭34経済）各2万円、丹羽 徹様（昭38経営）、山本亮三様（昭53経営）各3万円、匿名様（昭48）、茂木 孟様（昭34経営）、吉井昌彦様（昭55経済）、池田勝一様（昭41経営）、水島 昇様（昭51法）、鶴 浩一様（昭32経済）、森安 陸夫様（昭31経済）各5万円、佐藤禎雄様（昭31法）、森口隆 宏様（昭42経済）、熊谷 清様（昭39経営）、木村壽彦様（昭46法）、阿部 雅様（昭33経済）各10万円、根岸 哲様（昭40法）

50万円をご寄附いただきました。お陰様で、令和2年度4月以降の寄附金額は1,114万4,700円になりました。厚くお礼申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合（銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<http://www.rokkodafund.com>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: [kenkai@rokkodafund.com](mailto:kenkai@rokkodafund.com)